

私が行うNIEの最初の授業では、全員に同じ日の新聞を持参させ、第1ページ＝1面を教え、1面に何があるかを答えさせます。前回の導入に続き、新聞に親しませるための「最初の授業の方法」を紹介します。

- ③ 次は、新聞の定価（月決め）を答えさせます。「2000円、3000円、4000円、5000円のうち、一番近い値段はいくらでしょうか」。こんなふうに問いかけてもいいですね。どの新聞にも月決め定価が書いてあります。紙面のどこに書いてあるかを探させ、見つかったら、黙ったままで手を挙げさせます。1分たっても1人も手が上がらないようでしたら、「紙面の上の方、欄外にあるよ」などとヒントを与えるとよいです（朝日、毎日、読売は第一社会面の上部欄外、産経新聞は1面欄外にあります）。
- 各紙で違いはありますが、全国紙の朝日、毎日、読売は、1カ月3925円（朝夕刊セットの場合、2012年5月現在）です。朝刊と夕刊が毎日配達されて、4000円しないのですから、安いと思いませんか？
- ④ 今度は、大きな文字を探させます。その前に、どのくらいの大きさか予想させるようにします。漢字、ひらがな、ローマ字（アルファベット）、数字、なんでもよいですし、紙面のどこを探してもよいです。大きい、と思う文字に蛍光ペンで印をしていき、最後に一番大きそうな一つを切り抜いて、ワークシートに貼らせます。これを黒板に張っていき、それぞれ大きさを比べるといいでしょう。
- ⑤ 同様に、小さな文字を見つけさせます。小さな文字ではまず、金融情報の紙面に目をつける子どもが多いですが、そのうち広告に目をやるようになります。一番大きな文字も、一番小さな文字も、おそらく広告の中で見つかります。
- ⑥ さらに、新聞の文字を切り抜いて自分の名前を作る、今の季節らしい写真や記事を探してお話をつくる、人が写っている写真にふきだしをつけてマンガ風にするなど、手を動かして作業をさせると子どもたちはたいへん喜びます。

（鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問）